

第 1407 回例会報告(目の愛護デー・献血)

日 時 2018 年 10 月 8 日(月・祝)

場 所 多治見美濃焼卸センター 献血会場

10月7日 目の愛護デー講演会

◎会長挨拶 L.古賀政男

皆様おはようございます。

ただいまご紹介いただきました、多治見ライオンズクラブ会長の古賀でございます。

本日は沢山の方にご参加いただき、誠に有難うございます。

ライオンズクラブと目の愛護について少しだけお話させていただきます。

それは遠く1925年、今から95年前まで遡ります。ライオンズクラブ国際大会にヘレンケラー女史とサリバン先生をお招きしてスピーチをしていただきました。ヘレン女史のスピーチは、予防可能な失明は根絶され、全ての盲目の子供達が教育を受ける機会を得られ、男性でも女性でも盲人全てが支援される日が一日でも早くやってくるために、

ライオンズのみなさん！暗闇と戦う騎士になってくださりませんか！

と、世界中のライオンズクラブのメンバーに訴えられたことに淵源があります。

以降、世界中のライオンズクラブは、トラコーマ根絶活動をはじめ、様々な失明に対する予防活動に取り組んでまいりました。

多治見ライオンズクラブのサイトファースト活動の第一人者が本日この機会を企画いただきました岩瀬愛子先生です。岩瀬先生は、2009年に当クラブが結成50周年の年に入会され、その年にライオンズクラブ国際基金(LCIF)を利用し、結成記念事業として岩瀬先生のご指導の下、眼の底眼圧、出血、緑内障を検査する装置を1000万円で寄贈させていただき、5年後の2014年クラブ結成55周年には、簡易視野検査装置を500万円で寄贈させていただきました。これらの高度医療機器を駆使し、10月10日の「目の愛護デー」関連事業として、本年は10月9日(火)10月12日(金)にライオンズ眼科検診が、保健センターで実施されます。

岩瀬先生は、日本の緑内障の権威であり、多治見ライオンズクラブのメンバーでいらっしゃることに私たちは誇りに思っております。どうぞ本日のセミナーを有意義な機会としていただきたいと思いますよう、お願い申し上げます。多治見ライオンズクラブ会長挨拶とさせていただきます。

ご清聴、有難うございました。





10月8日 献血例会





◎献血協力団体人数

午前の部 カブスカウト 25名
 ガールスカウト 15名
 高校生・指導教諭 10名

午後の部 ボーイスカウト 20名

会員の皆様、ボランティアの皆様 献血にご協力頂きまして有難うございました。

◎例会出席(目の愛護デー含む)

実質出席人数53名
 出席 35名 出席率 66.0%